

武漢事務所週刊ニュース（2015年7月4日～7月10日）

ライトレール1号線がスピード上げ、片道2.65分短縮

7月4日 楚天都市報

前日、武漢軌道交通1号線は正式に新運行図表に切り替わり、漢口北から東吳大道駅まで、スピードを1.13km/h上げ、片道の運行時間が2.65分短縮される。

地下鉄運営会社の責任者の説明によると、急激な利用客の増加に対応し、乗客の待ち時間を短縮するために、スピード向上計画を立て、試験運行で成功した。スピードを上げた結果、1号線の片道運行時間が従来の69.4分から66.75分に減った。



武漢ライトレール1号線の様子

341 番のマイクロ電動バスが運行開始

7月4日 武漢交通ネット

江岸区堤角前街から解放大道新栄村の区間では、道路工事により道幅が狭くなっており、大型の路線バスが走りづらく、この地区の住民の交通手段が問題の一つとなっていた。そのため、7月1日から341番のマイクロ電動バスが運行することになった。

武漢公共バス第一公司是2台の12席の全電動自動車を新たに増やした。この自動車は外形がマイクロ循環公共バスに似ている、ただマイクロ循環バスより小さくて狭い街や路地を通りやすく、又クーラーもついている。

341番は全コース5キロの長さで、2台の車を配置し、6:00-19:00の間、平均15分間おきに1回があり、切符一枚制を実行し、コイン入れ1元、カード使い0.8元となる。

このルートには次の12の駅を設けている。(堤角前街公共バスステーション、堤角前街堤角小学、堤角前街砗場路、砗場路漢口新城、砗場路堤角路、堤角路新北路、新湖街中百スーパー、新湖街解放大道口、解放大道新栄村、堤角前街解放大道口、堤角前街バスステーション)